

空にぐーんと手をのばせ

新沢としひこ

「世界中の子どもたちが」を作詞された新沢としひこさんの詩です。空は雄大で、どこまでも広がっている無限の世界です。そこに向かって手をのばす。最高の気分です。

空にぐーんと手をのばせ

わたぐも

すじぐも

かきわけて

でっかいおひさま

つかまえる

海にぐーんと手をのばせ

大波

小波

かきわけて

でっかいくじらを

つかまえる

横にぐーんと手をのばせ

だれかとしっかり

手をつなげ

ぐるっと

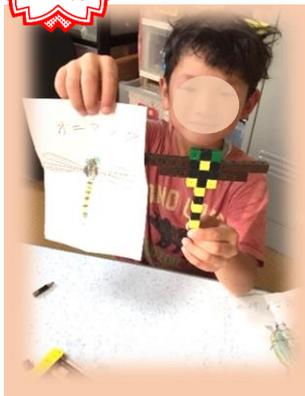
地球を

かかえちゃえ

〈空にぐーんと手をのばせ〉理論社



上手ですねえ！



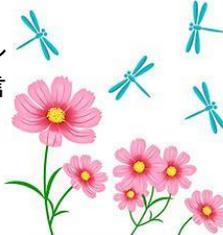
子どもに暇な時間を！



マンカラという遊びを以前紹介しましたが、それをアレンジするのも、子どもの専売特許かと思います。

自由に使える「暇」を、子どもに与えてほしい、と切に願います。

子どもの発想は、奇想天外！この日も、きらめきルームでブロックで遊んでいる子どもが「できた」と言ってみせてくれたのが「オニヤンマ」です。ほんとに良くできていますね。



虹の色

- せき(赤)
- とう(橙)
- おう(黄)
- りよく(緑)
- せい(青)
- らん(藍)
- し(紫)



放課後教室の冷蔵庫に、ずいぶん前から「虹の色の順番」を貼っておきました。声に出して言うことで、少しずつ覚えていくように思います。放課後教室のみんな、言えるかな？

なかよしの笑顔



樽の中に二人で入り、ゴロリところがる。それだけのことなのですが、なぜか楽しいのです。

素敵な笑顔があふれます。

子どものすばらしさ、それは、この「笑顔」だと思います。

世界中には、様々な理由で、この笑顔を奪われている子どももいることと思います。「子どもの笑顔を消さないで」と言い続けていきたいです。

【気をつけたいこと】

横浜の放課後クラブに、母親を装い「急用なので子どもを一人で帰らせてほしい」という電話が、7/13と8/1にそれぞれ別のところにかかってきたそうです。この2件では、実際に在籍している児童の名を電話で伝えられたため、児童を帰宅させたということです。実際は、なりすまし事案であったことがわかっています。

相和小の放課後教室では、たとえ実の親からであっても、一人で帰宅させることはできません。

それにしても、不安な社会になってしまったと思います。人を信用できず、知らない土地で道を聞くこともはばかれるとは、ある意味さびしい社会です。十全に気をつけながら過ごしていきたいものです。